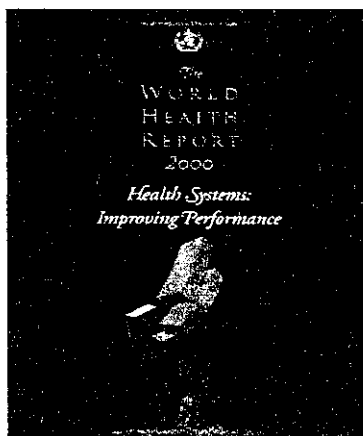


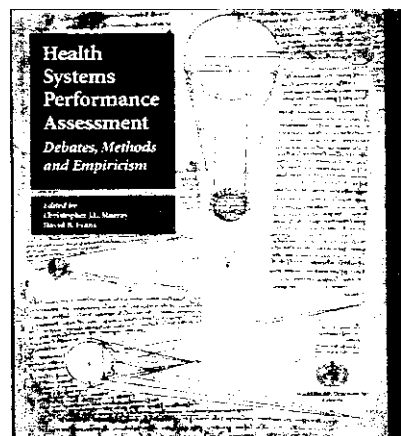
第3部 世界保健機関 の 新提案

世界健康報告2000



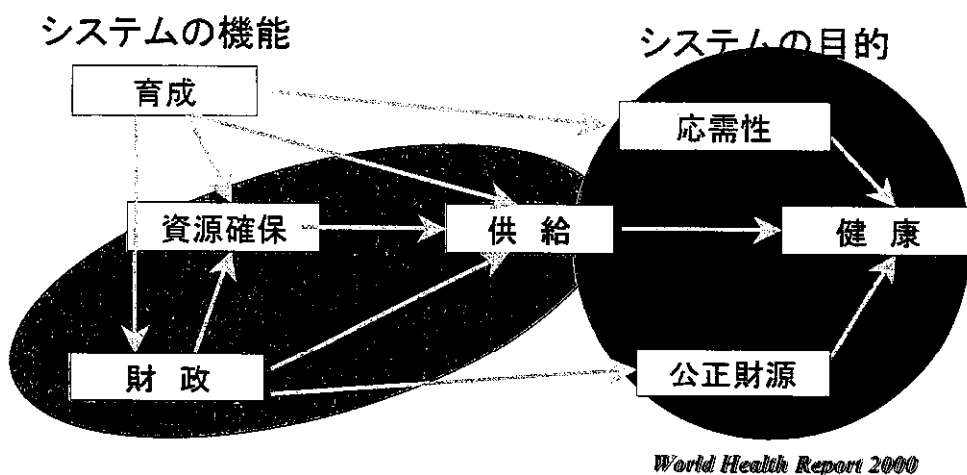
世界保健機関2000

医療システム活動評価



オックスフォード大学出版2000
政策のための根拠と情報局

医療システムの目的と機能



医療システム評価の側面

	水準	分布	
健康結果	○	○	} 効率
応需性	○	○	
公正財源		○	
	} 質	} 公平	

WHO/EIP

図9 公正財源

税、必要経費を除いたあとの、
家計に占める医療費支出の
割合の分布をみる

注) 食料に用いられるエンゲル係数の医療版

WHO/EIP

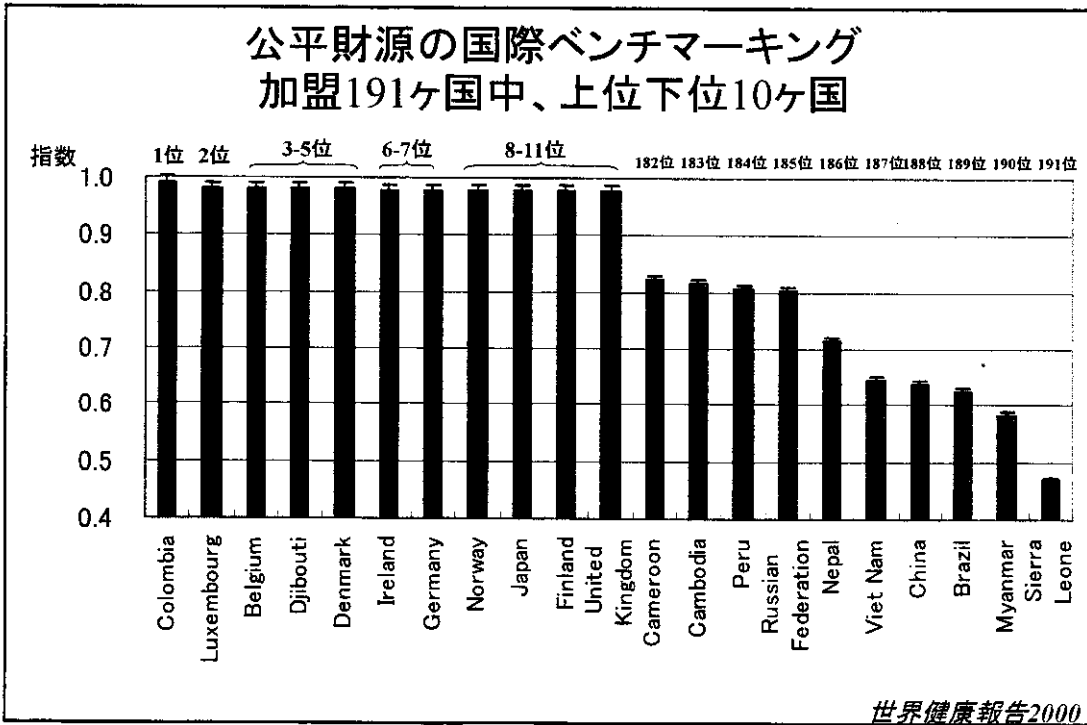
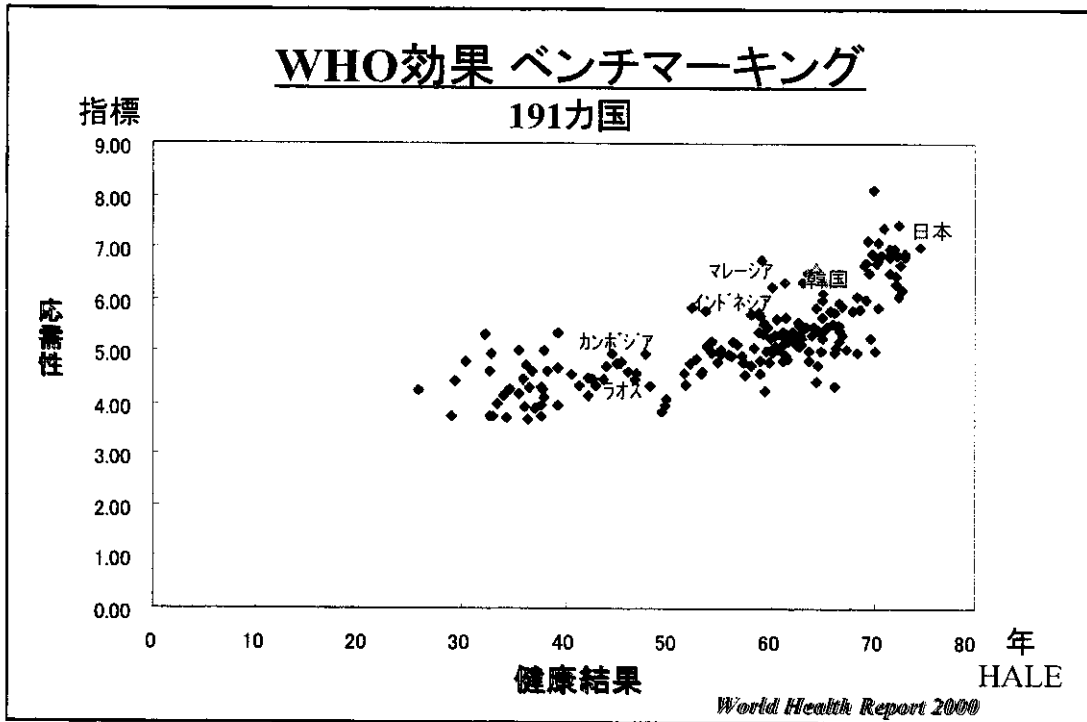
応需性(Responsiveness)の7側面

権利

1. 個人の尊厳
2. 個人の自律
3. 守秘
4. 情報の提供

満足

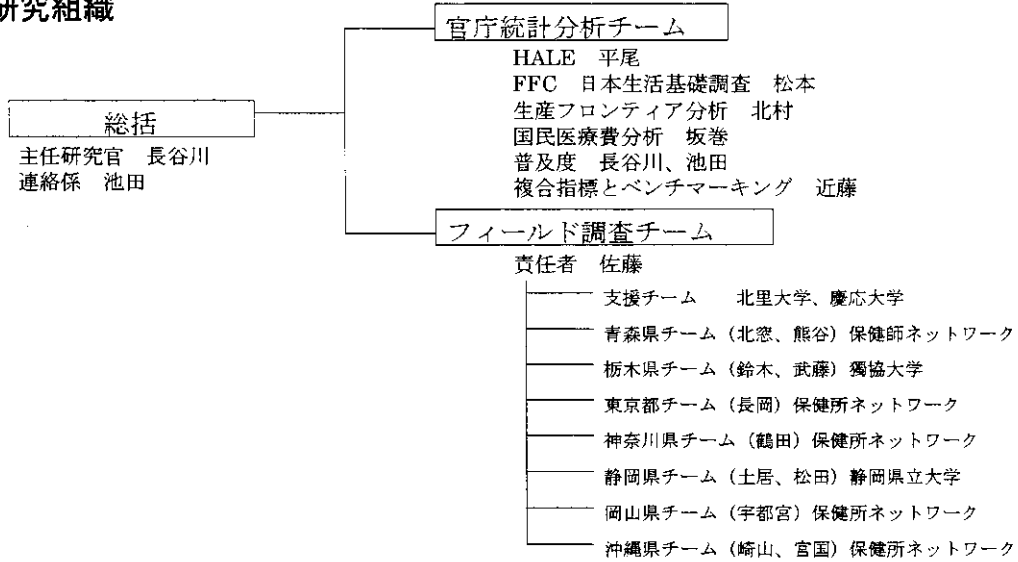
5. 迅速な注意
6. 社会支援網
7. 基本的アメニティ
8. 診療施設の選択



平成 14年度厚生労働科学研究費補助金
 社会保障国際協力推進研究事業

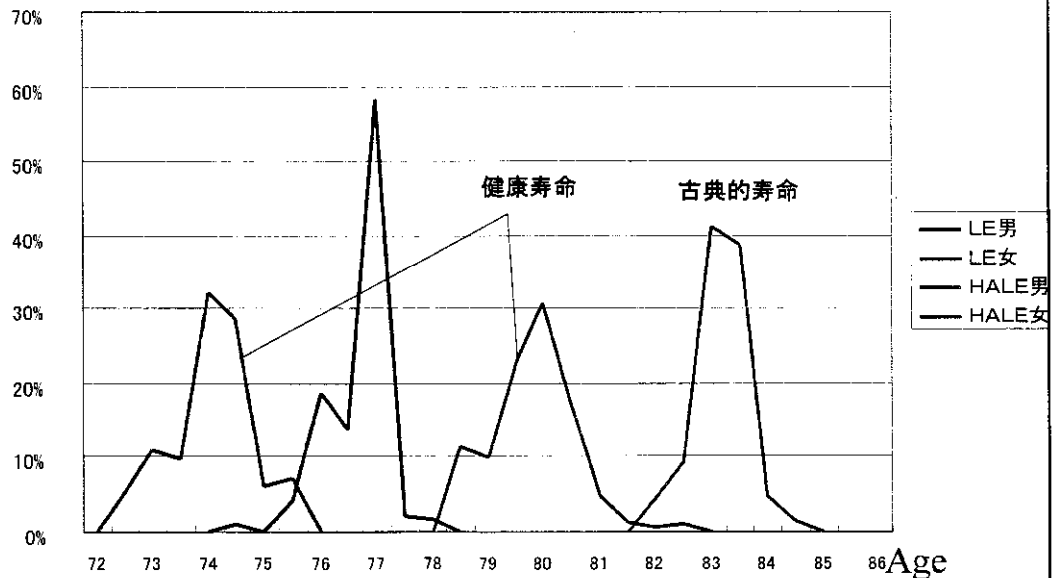
WHO保健システム評価手法の妥当性及びその活用に関する研究

研究組織



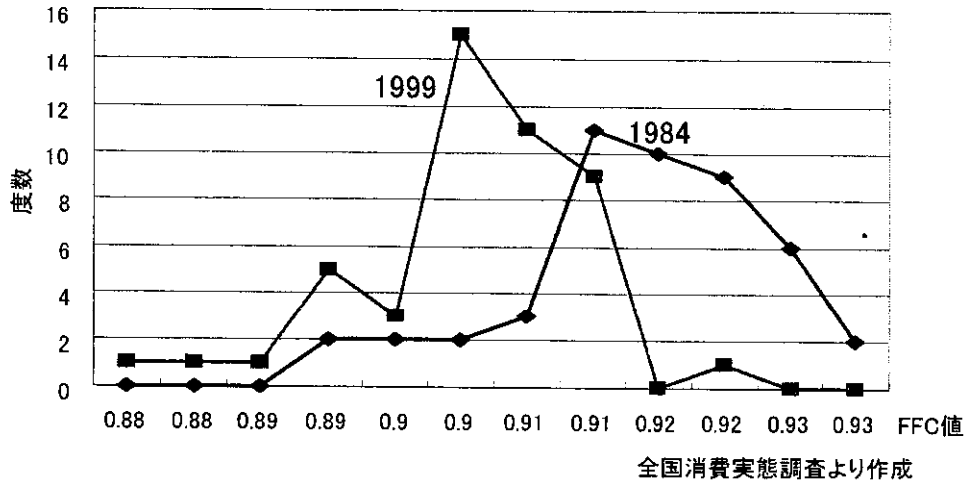
健康寿命と寿命の分布

47都道府県、1995



公正財源の県別分布

47都道府県 時系列変化(1984・1999)



近接性 県別分析

47都道府県 男女別 全体

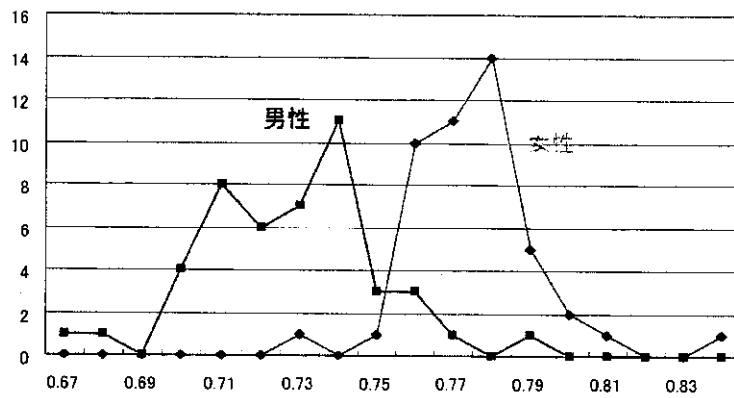
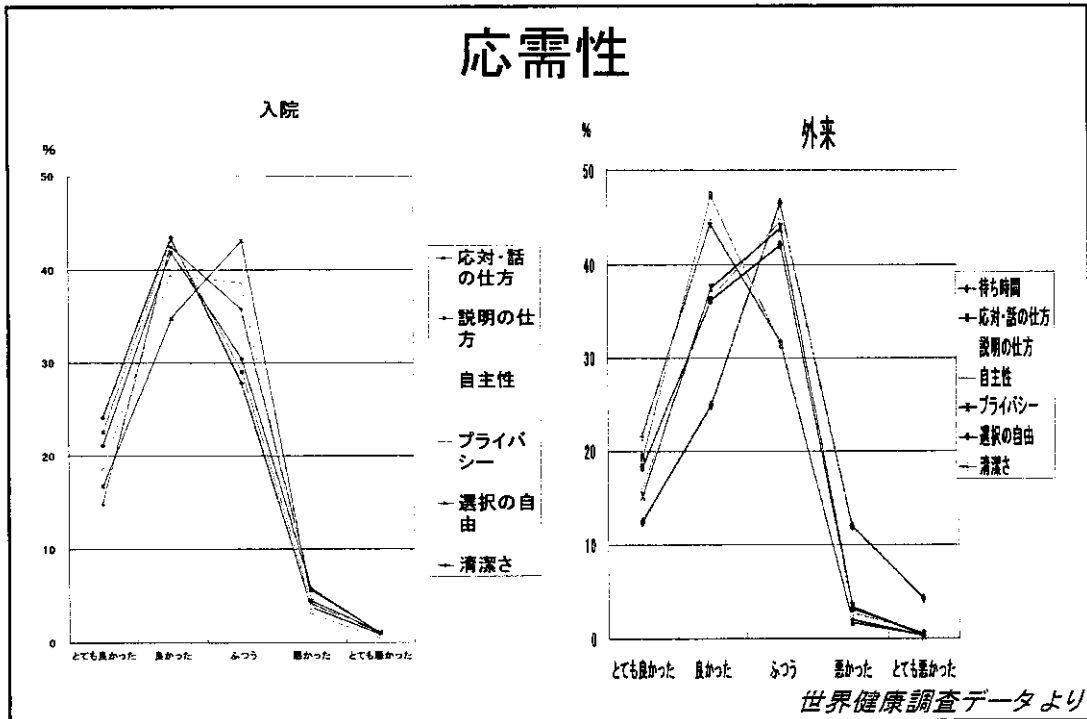


図15-4 近接性 県別分析 (1999年)

世界健康調査

都道府県	窓口	調査実施調整者	実施地域	予定調査数	実施調査数	調査員数
青森	北窓隆子 健康福祉部次長	柴田ミチ・熊谷崇子 健康医療課総括主幹	6市町村	1200	1145	32
栃木	鈴木康裕 保健福祉部保健医療監	武藤孝司 獨協医科大学教授	4市町村	1200	1183	49
静岡	土居裕幸 保健福祉部技監	松田正巳 静岡県立大学教授	4市町村	1200	1203	26
岡山	宇都宮啓 保健福祉部長	二宮一枝 岡山県立大学助教授	1市町村	1200	304	18
沖縄	崎山八郎 保健福祉部次長	財団法人沖縄県公衆衛生協会	5市町村	1200	実施中	—
合計				6000	3835	125

応需性



第5部

結論

結論

1. 医療システムの評価には、目的、対象、立場、方法をあらかじめ決めておく必要がある。
2. 古典的な評価の項目は、国際的には効果 (Effectiveness)、効率 (Efficiency)、公平 (Equity) が用いられてきた。
3. 近年、世界保健機関政策のための根拠情報局から、新しい評価手法が提案され、国際的注目を浴びている。
4. 新提案の評価手法を県レベルでの評価に使うことは可能である。
5. 医療計画の目的を明確にし、その特質からどのような立場で評価するか重要である。